

バラシクロビル錠 500mg「YD」服薬指導ガイド

本剤の使用に際し、「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照下さい。

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、投与量を減じる必要があります。

医師・薬剤師の皆様へ

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、精神神経系の副作用があらわれやすいので、投与量の調節が必要です。これらの患者さんに本剤を投与する場合には、問診や、必要に応じて腎機能検査を実施して下さい。

腎機能の低下した患者さん、高齢者には、以下のクレアチンクリアランスによる投与量および投与間隔の目安を参考に投与して下さい。


なお、腎障害を有する小児患者における本剤の投与量、投与間隔調節の目安は確立していません。

クレアチンクリアランス (mL/min)	単純疱疹	帯状疱疹・水痘(成人)	性器ヘルペスの再発抑制
≥50	500mgを12時間毎	1000mgを8時間毎	500mgを24時間毎 なお、HIV感染症の成人(CD4リンパ球数100/mm ³ 以上)には500mgを12時間毎
30~49		1000mgを12時間毎	
10~29	500mgを24時間毎	1000mgを24時間毎	250mgを24時間毎 なお、HIV感染症の成人(CD4リンパ球数100/mm ³ 以上)には500mgを24時間毎
<10		500mgを24時間毎	
血液透析患者	患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチンクリアランス10mL/min未満の目安よりさらに減量(250mgを24時間毎等)することを考慮すること。また、血液透析日には透析後に投与すること。		

体内の薬物動態には個人差があるため、目安通り投与された場合でも精神神経系の副作用が発現する可能性がありますので、このような副作用が発現した場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さんにご説明下さい。

脱水状態下では腎障害が起こりやすくなるので、脱水症状を起こしやすい患者さんには、適切に水分を摂取するようご指導下さい。

バラシクロビル錠 500mg「YD」を 服用される患者さまへ

製品名	バラシクロビル錠500mg「YD」	
形状 (表・裏)		

あなたの腎臓の働きは弱っていませんか。

以下の項目に該当する場合は、このおくすりを**服用する前に医師または薬剤師に相談してください。**

- **腎臓が悪い**と言われた事がある
- **透析を受けている**
- 最近、**尿の量が少なくなった**
- **むくみ**がある

(裏面に続く⇒)

服用後、以下のような症状がみられたら、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

このおくすりを服用した後、以下のような症状がみられたら、**服用を中止し、すぐに医師または薬剤師に相談してください。**

- めまい
- 頭痛
- 手足のしびれ感
- 一時的にぼーっとして意識が薄れる
- ふらつき
- ふるえ
- 筋肉のぴくつき

服用期間中に注意していただきたいこと

脱水状態になると副作用があらわれやすくなりますので、**服用期間中は普段より多めに水分を取ってください。**

